

・研究発表1. 「現職保育者の研修内容に関する一考察」

— 動きを伴った音楽経験を中心として —

仲 嶺 まり子

(別府大学短期大学部)

発表内容要旨

現在、保育現場における保育従事者の多くは、幼稚園教諭・保育士養成校において音楽の基礎知識やピアノ演奏、乳幼児と音楽などについて学びながら、音楽表現技術を獲得している。しかし、実際に子どもを受け持ちクラスを運営する過程においては、様々な困難に対応しながら保育を行なわなければならない。保育者の中にはそのような状況下で、学生時代に学んだ音楽表現技術を活用する方法や方向性を見いだせず、そのことの解決方法を模索している者も少なくない。

そのため、筆者は保育における音楽活動の質的向上のためには、保育者の継続的な音楽体験が必要であると考え、保育者を対象とした音楽研修の在り方について検討を重ねてきた。主に、グループ形態での有益な音楽体験とはどのようなものが望ましいのであろうかということを前提に、「保育者が音楽研修に求めるもの」・「音楽と動きに関連した内容の保育実技書」についての調査を実施し、その結果に基づき「保育における表現活動での音楽と動きの内容分類」を行った。また同時に、研修講座において保育と関連した音楽表現活動の実践も試みた。よってその報告を行いながら、保育としての音楽活動の提供と共に保育者自身の音楽アイディアに対する意識の向上を図ることの重要性について述べてみたいと思う。